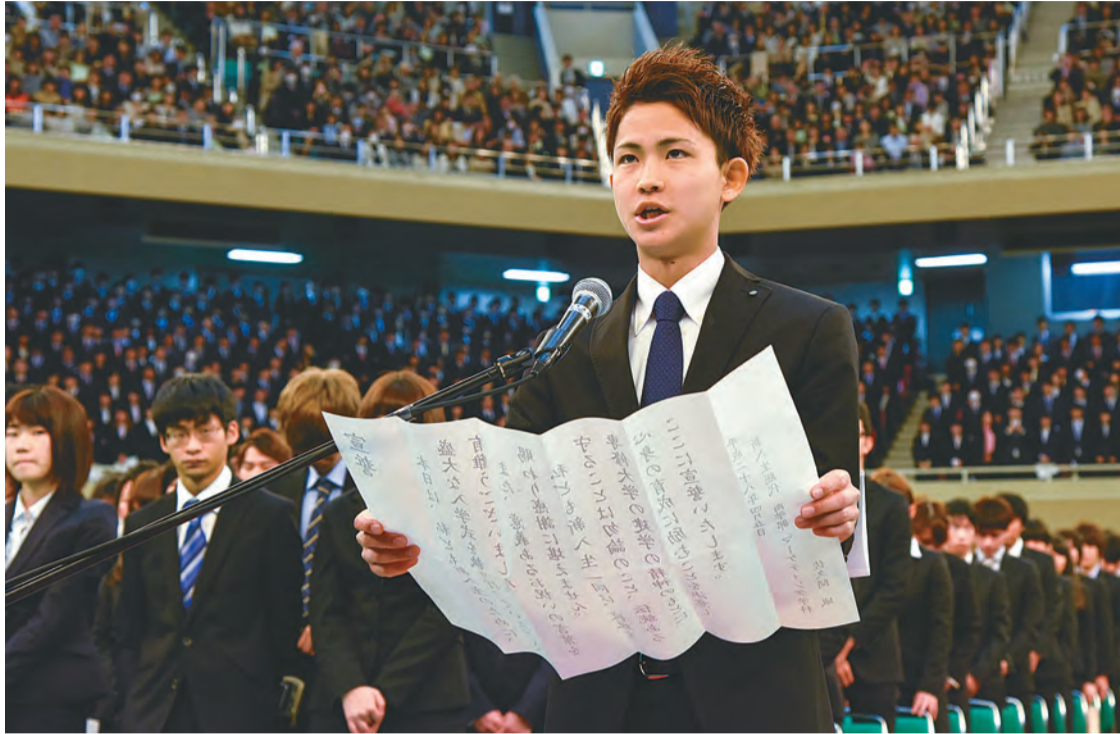


# 輝く夢へ 決意の日



▲ 新入生を代表して宣誓する佐久間さん

## 2016年度入学式

2016年度の専修大学入学式が4月5日、東京都千代田区の日本武道館で行われた。満開の桜の下、学部、大学院、法科大学院合わせて4849人が希望に胸を膨らませ、新しい学生生活の一步を踏み出した。矢野建一学長が「これからの皆さんの奮闘に期待する」と激励。本学野球部OBで広島東洋カープの黒田博樹投手(平9商)がスペシャルメッセージを寄せた。

新入生は学部(一部、二部)4735人、大学院93人、法科大学院21人。矢野学長は式辞で専大の歴史と、昨今の施設整備や新カリキュラム導入などの取り組みに触れつつ「何より大切なのは、

# 三三三専修

「専修大学」ホームページ <http://www.senshu-u.ac.jp/>

毎月1回15日発行  
(定価一部590円)  
発行所  
専修大学広報課  
〒101-8425  
東京都千代田区  
神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

## 主なニュース

- 2016年度入学試験概況／出身高校別合格者一覧……………6
- 新入生歓迎セミナー／囲碁の大関さんが快進撃……………7
- 本学初 浦和学院高校と教育交流提携協定を締結……………8
- タイ・チュラロンコン大学社会調査研究所と協定……………9
- 「石巻専修大学」新学長に尾池守理工学部教授／入学式……………10
- 石原ゼミ「東京で『ぶ漬け唐揚げ』試験販売……………12

## 黒田投手が専大魂伝える



▲ 横浜駅に掲出された広告

### 広報活動に一役

専修大学は、本学野球部OBで、広島東洋カープの黒田博樹投手(平9商)と広報宣伝活動の契約を結んだ。

大学パンフレットや公認グッズ、新聞や雑誌、交通広告などに登場し、熱い「専修スピリット」を伝えていく。

契約は12月末まで。3月下旬には東京メトロ・都営地下鉄九段下駅、小田急線新宿駅、JR東日本の水道橋駅、新大塚駅、JR東海の静岡駅、JR九州の玉名駅に黒田選手の広告

を掲出。試合で奮闘する黒田選手の写真に「それが、専修スピリット。」というキャッチコピーを添え、さまざまなことに挑戦し続ける専大ファミリーの心意気を紹介している。

黒田投手が力強く拳を握るデザインのカリアフアイルは、卒業式と入学式で配布され、卒業生・新入生に勇気と、ひたむきに努力する大切さを伝えた。

黒田投手は「私が成長できたのは専修大学のおかげです。この機会に、少しでも母校のお役に立てるなら喜んで引き受けました」とコメントを寄せた。

皆さん自身が自ら課題に對して奮闘し、考え悩むことだ」と述べた。

日高義博理事長の祝辞に続いて、ご父母・保護者の会である育友会の本多英夫会長が同会の活動を紹介。新入生を代表して佐久間城さん(商・専大松戸高)が「伝統ある専修大学の『建学の精神』のもと、心身の育成に励むことを決意します」と宣誓した。

最後に黒田投手の音声メッセージが会場に響いた。黒田投手は「プロ野球に入ってもいつまでも専修大学出身というプライドを持ってプレーしています。皆さんも誇りを常に持って、日々精進してください」と鼓舞激励した。

ラグビー部に入学した片岡領さん(経営)は「黒田投手は同じスポーツマンとして憧れの存在。励みになる。ラグビーも学業もしっかりやりたい」と表情を引き締めた。山下奈穂さん(二部商)は「まだ分からないことだらけだけど、一つ

一つ頑張っていきたい」と決意を語った。

当日はご父母・保護者約5800人が来場し、新たな門出を見守った。式の後には花冷えを吹き飛ばすように、新入生の晴れ姿と咲き誇る桜をカメラに収めていた。入学式の司会は荒川晴菜さん(経済4)が、歓迎セレモニーの司会は竹下朋恵さん(文2)が担当した。

(2面に学長式辞と理事長祝辞、3面に歓迎メッセージ、4・5面に写真特集)



DVD絶賛販売中(購買会他)

### ◆ニュース専修

キャンパスライフに役立つ情報や学生の寄稿、体育会の活躍・試合予定などを掲載して、毎月15日に発行しています。生田キャンパスでは9号館(120年記念館)、10号館(130年記念館)や学生生活課前などに、神田キャンパスでは1号館地下1階、7号館(階)にありますので、ご自由にお持ちください。(学内配布分は無料。ご父母・保護者の皆様には、育友会から送付いたします)

## 妖怪 生田に現る

### 図書館企画展好評開催中



▲多くの来場者でぎわっている

生田キャンパスに妖怪が顔を出した。図書館企画展「春にやってきた江戸の妖怪大集合」向井信夫文庫を中心に「好評開催中だ。

江戸時代の妖怪画の先駆けとなった絵本「画図百鬼夜行」から水木しげるの一般書まで、51点が展示されている。同展は、学生に図書館を身近に感じてもらうとする4月の恒例行事。今回は本学が所蔵する江戸後期の戯作コレクション「向井信夫文庫」に登場する妖怪や幽霊、化け物をクローズアップした。

会場を訪れた佐々木健太さん(文2)は「いろいろな妖怪が登場して絵そのものが面白い。想像力やロマンがかき立てられる」と熱心に見て回っていた。

「画図百鬼夜行」シリーズは全ページ複写して壁にも展示。アンケートに答えると特製カードがプレゼントされる。

図書館本館研修室(生田キャンパス9号館3階)で4月29日まで(日曜を除く)。入場無料。

▲妖怪がいざなう企画展の入り口



▲多くの来場者でぎわっている

生田キャンパスに妖怪が顔を出した。図書館企画展「春にやってきた江戸の妖怪大集合」向井信夫文庫を中心に「好評開催中だ。

江戸時代の妖怪画の先駆けとなった絵本「画図百鬼夜行」から水木しげるの一般書まで、51点が展示されている。同展は、学生に図書館を身近に感じてもらうとする4月の恒例行事。今回は本学が所蔵する江戸後期の戯作コレクション「向井信夫文庫」に登場する妖怪や幽霊、化け物をクローズアップした。

会場を訪れた佐々木健太さん(文2)は「いろいろな妖怪が登場して絵そのものが面白い。想像力やロマンがかき立てられる」と熱心に見て回っていた。

「画図百鬼夜行」シリーズは全ページ複写して壁にも展示。アンケートに答えると特製カードがプレゼントされる。

図書館本館研修室(生田キャンパス9号館3階)で4月29日まで(日曜を除く)。入場無料。

▲妖怪がいざなう企画展の入り口